

町内にはさまざまなコミュニティがあり、独自の活動をしています。そんな皆さんの活動やイベントを紹介するコーナーがグループライフ(仲間との生活)です。

GroupLife

グループ ライフ

GroupLife 子育てはたくさんの笑顔とたくさんの手で～「つなぐ・つながる」をめざして～

NPO法人ふじみ子育てネットワーク ☎62-5505

小学校放課後のあそびば

NPO法人ふじみ子育てネットワークは、小学生が学校外で自由に過ごせる「居場所」をつくることを目的に、富士見小学校・本郷小学校の児童を対象に放課後のあそびばを運営しています。富士見小学校は紅林荘の敷地の一部の森をお借りして、本郷小学校は学校近隣の私有地をお借りして水曜日の放課後に開設しています。

ここでは自分の責任で自分の意志で動くことを基本としています。遊び方も自分で決めます。そんな場所ですから初めは自分のやりたい！が優先して子ども同士のケンカはしません。でもそのケンカをどうおさめるか、やりっぱなしにするかも子どもたちが自分で考えます。その積み重ねのおかげで、それまで絡むとすぐトラブルになっていた子どもたち同士が、どちらも気持ちよく遊ぶことを考えはじめました。

学年を越えて、ケンカも含めて、気持ちのキャッチボールをすることはコミュニケーションの基本です。一緒に過ごすために相手の気持ちと自分の気持ちをつなげるにはどんなことが必要なのか、毎回毎回子どもたちは経験から少しづつ身についています。今後は境小学校にも開設できることを目標に活動を継続していきます。

子どもたちの居場所づくりに興味のある方はぜひ一度あそびにいらしてください。

【富士見小放課後のあそびば】 毎週水曜日 午後3時過ぎ～午後5時頃

【本郷小放課後のあそびば】 隔週水曜日 午後3時過ぎ～午後5時

あそびばの様子は、ふじみ子育てネットワークのHPをご覧になれます。

(あそびばのページ「あそび場の日記」) www/fukosnet.com



▲毛糸と木片で何やらものづくり中



▲1年生から4年生まで一緒にドッヂボール



▲既成遊具がなくてもあそびがどんどんひろがります



GroupLife 認知症の人を応援します 保健補導員会連合会

1月の保健補導員会連合会では、認知症サポートキャラバンの方々を講師にお迎えし、認知症サポーター養成講座を開催しました。認知症サポーターは認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者です。

講座ではキャラバンの方たちが寸劇を通して、ユーモアを交えながら認知症の方の目線で周りの関わり方を伝え、難しいと思いがちな認知症の方との関わりも本人の気持ちに寄り添うことで上手くいくことが分かりました。講座を受けた認知症サポーターには、「認知症の人を応援します」という意味を示す「オレンジリング」が渡されました。

高齢化社会で認知症を発症する人口も増えてきている状況のなか、地域や職場でどんな支援ができるのか一人ひとり考えていくことが大切です。今回講座を受けたことで、その知識を友人や家族に伝えたり、実際の関わりに活かすなど認知症に理解のある人が増えていくと良いですね。

～西伊豆町とスキー交流～

2月7日(金)に富士見高原スキー場で、西伊豆町の小学5年生と富士見町内の小学5年生がスキー交流を行いました。昨年の夏、西伊豆町のクリスタルビーチで交流し絆を深めた仲間と再会できたため、お互いに笑顔で喜び合いました。

体が冷えないよう、板を履く前には十分な準備体操からです。その後は方向転換の練習です。さらに体重の移動や板の向きなど、インストラクターから指導を受け、楽しく滑れるようになりました。

そんな中で、なかなかうまく滑れないお友達にやさしく声をかけ、ひとつひとつ丁寧に指導している場面もあり、また、友達同士お互いに習ったことを確認し合う場面もあったりと、寒い季節に「温かい心」があることに感動しました。この交流で得た体験や気持ちを持ち続け、さらに西伊豆町と富士見町との絆が深まるこことでしょう。



Group Life スポーツは楽しいもの・楽しむもの

富士見町地域スポーツクラブ

問 海洋センター内 ☎62-6126 町民センター ☎62-2400

2年間の広報掲載ありがとうございました。

これからも「スポーツは楽しいもの・楽しむもの」「スポーツはみんなのもの」「スポーツは一生もの」を合言葉に、活動を続けてゆきます。これまでの「ストレッチの集い」「ウォーキング」「すくすくスポーツデー」「キッズスポーツ教室」等の事業を継続していくことに加え、今後は松本大学との連携をさらに強化し、スポーツの大好きな子どもたちの育成・支援を目的に、親子で参加できるプログラムの取り組みも実施します。

また、本年より「健康ふじみ21（運動週間推進チーム）」のメンバーに加えていただることとなりました。「心も身体もいきいきと楽しく暮らせる高原の富士見町」を目指し、町民の皆様の健康づくりに参加させていただきますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

※2ヵ月単位の「クラブニュース」は、町民センター・海洋センター・コミュニティプラザ・保健センターに常設しています。お気軽にお持ちください。



会長
小池 一夫



クラブマネージャー
葛城 明美

2月14日(金)松本大学において、「長野県の総合型地域スポーツクラブと大学との協働」と題した講演会が開催されました。

この中で富士見町地域スポーツクラブの葛城クラブマネージャーが実情の報告を発表し、今後の協働の在り方について議論を深めました。

Group Life 「富士見町の宝」を発掘&発信しています

こんにちは。「おらほー富士見」です。一年間にわたり、広報ふじみの誌面をお借りして富士見町の素敵な団体や活動を紹介してきましたが、今回がシリーズ最後。最後は私たち、おらほー富士見のことを少し紹介させていただきます。

おらほー富士見は、富士見町の素敵な人や団体・お店・活動を「富士見町の宝」として多くの人に知っていただこうと活動するグループで、富士見町の魅力を発見・紹介するイベントを開催したり、インターネット上で情報発信したりしています。

地元に住んでいると、それが当たり前に思うこともあるかもしれません、富士見町には、自然環境・景観、伝統文化、食、農作物、建築物、人、団体、お店などなど、すばらしい「宝」がいっぱいあります。そんな宝を「富士見町ってこうなんだよ」と他の地域の人々に話すと、「いいなあ富士見って！」と、うらやましがれることもしばしば。富士見町の「当たり前」が実は他にはない、とっても素敵なことだったりします。それを一つひとつ掘り起こしていくのが私たちの活動です。

メンバーはみな仕事をしながらの活動ですので、まだまだ「富士見町の宝」の多さに比べたら紹介していく手数が足りませんが、それでも少しずつ取材したり情報発信したりを進めているところです。これからも多くの方に富士見町の魅力を知っていただけるよう活動していきますので、皆さまどうぞよろしくお願ひします。

(お時間のある方はぜひ「おらほー富士見」と検索してみてくださいね)

※おらほー富士見では、取材＆ライターをしてくださる方を募集しています。私たちの活動にご賛同いただき、取材などに興味のある方はお気軽にご連絡ください。



▲ホームページは
「おらほー富士見」で検索

Group Life 生きがいと健康・仲間を基礎に社会貢献

2月8日(土)富士見グリーンカルチャーセンターで富士見町高齢者クラブ連合会演芸会が開催されました。当日は大変な大雪と風の中でしたが、朝から多くの方たちが来場し、会場内は熱気がこもった歌や踊りが披露され、非常に盛り上がりいました。

富士見町高齢者クラブは仲間づくりを通して、生きがい・健康づくり・生活などを豊かにする楽しい活動を行っています。そしてその知識や経験を活かして、地域の諸団体と共に、地域を豊かにする社会活動に取り組んでいます。

